



花房小学校「交通安全教室」

菊池

題字／菊池北中学校3年 中村 斗真 さん

議会だより

1月臨時会・3月定例会 Contents

- 臨時会・定例会審議結果 … 2~3
- 委員会報告 …………… 4~9
- 13人が市政を問う! …… 10~16
- 高校生が議会を傍聴しました 17

この臨時会では、条例の制定、補正予算の2議案が提案され、慎重に審議しました。

審議の結果、原案のとおり可決しました。

開催日：1月19日（金）

補正予算の主な内容は、国の補正予算成立等に伴い早急に事業を進める必要がある物価高騰対応重点支援給付金事業等を実施するため、増額するもの。

この定例会では、条例の制定、補正予算など27議案が提案されたほか、意見書案1件、陳情2件があり、慎重に審議しました。

審議の結果、陳情第2号を除き、原案のとおり可決・承認・採択しました。陳情第2号は継続審査となりました。

開催日：2月16日（金）～3月19日（火）

主なものは以下のとおりです。

令和6年第1回臨時会・定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

| | 議案番号 | 議 案 名 | 結 果 |
|------------|---------|--|------|
| 第1回 臨時会 | 議案第1号 | 菊池市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| | 議案第2号 | 令和5年度菊池市一般会計補正予算(第13号) | 原案可決 |
| 第1回 定例会 | 議案第8号 | 菊池市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について (P4に福祉厚生常任委員会での審査内容の一部を掲載しています) | 原案可決 |
| | 議案第9号 | 菊池市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| | 議案第10号 | 菊池市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| | 議案第11号 | 菊池市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| | 議案第12号 | 菊池市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決 |
| | 議案第23号 | 令和6年度菊池市一般会計予算 (P6～8に予算決算常任委員会・分科会での審査内容の一部を掲載しています) | 原案可決 |
| | 議案第24号 | 令和6年度菊池市国民健康保険事業特別会計予算 (P8に予算決算常任委員会・分科会での審査内容の一部を掲載しています) | 原案可決 |
| | 議案第25号 | 令和6年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計予算 | 原案可決 |
| | 議案第26号 | 令和6年度菊池市介護保険事業特別会計予算 | 原案可決 |
| | 意見書案第1号 | 学校給食費の無償化を求める意見書 (P3に審査内容の一部を掲載しています) | 原案可決 |

賛否表

○は賛成 ●は反対 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

| 議案 | 結果 | 議席番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|--------|---------|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|
| | | 賛成 | 反対 | 本藤 | 安武 | 稲継 | 古田 | 島 | 大山 | 田中 | 福島 | 緒方 | 後藤 | 平 | 東 | 水上 | 猿渡 | 荒木 | 工藤 | 二ノ | 泉田 | 木下 | 山瀬 |
| | | | | 潔 | 睦夫 | 智康 | 浩敏 | 春代 | 宝治 | 教之 | 英徳 | 哲郎 | 英夫 | 直樹 | 奈津子 | 隆光 | 美智子 | 崇之 | 圭一郎 | 文伸元 | 栄一朗 | 雄二 | 義也 |
| 第1回臨時会 | 議案第1号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第2号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第1回定例会 | 議案第8号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第9号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第10号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第11号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第12号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第23号 | 可決 | 14対5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第24号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第25号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第26号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 意見書案第1号 | 可決 | 18対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | / | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

国に意見書を提出

学校給食費の無償化を 求める意見書(概略)

学校給食法に定める学校給食の目標達成に向け、学校では給食を通じた食育が行われてきた。

食育は教育活動の一環であり、教科学習とともに学校教育の大きな柱となっており、望ましい食習慣を養うなど教育効果も大きく、地産地消の活用を通じて地域の農業、畜産業等の産業振興にも寄与している。

物価高騰の影響等により市民生活が厳しくなっている中、子育て世帯における教育費の負担は多岐にわたっており、大きな負担となっている。とりわけ、給食費の負担も例外ではなく、本市においても小学校で4618円、中学校で5338円(令和5年度1人当たり月額平均)となっている。

このような状況は、子どもの貧困対策や少子化対策にも大きな障

害となると同時に、地産地消の推進、安心安全な給食の提供にも大きな影響を及ぼしかねない。とりわけ、基幹産業が農業である本市においてもその影響は避けて通れない。

全国の自治体の中には、給食費の無償化や一部補助を実施している自治体がある一方で、多くの自治体では財政余力が乏しく、実施が困難な状況にあり、岸田首相も「異次元の少子化対策」の中で、給食費の無償化について「課題の整理」を明記し、全国規模での実態調査の結果を公表し、6月以降に結論を出すと説明している。

義務教育の家庭負担において自治体間で格差が生じることは問題であり、どこに住んでいてもひとしく義務教育を受けられるようにするために、国の責任において学校給食費の無償化を進めるための財政措置を講じること、また、そのために「学校給食法」の改正を行うことを要望する。

定例会
委員会・分科会
一般質問
イベント等
研修・視察等

総務文教常任委員会報告

委員長／後藤 英夫 副委員長／東 奈津子 委員／安武 睦夫 稲継 智康 島 春代 荒木 崇之 山瀬 義也

継続審査

〔陳情第2号〕

**迫間支館および重味グラウンドを
公共施設として存続を求める陳情書**

内容 迫間支館及び重味グラウンドの公共施設での存続を求めるもの。

質疑 両施設は、地域との合意形成がしっかりできていないのではないかと。他の住民の皆様に対する合意形成は今後どのように進める予定か。

答弁 公民館支館は、令和6年度に地域住民を対象にアンケートを取り、住民の意向を確認し、さらなる合意形成を図りたい。

質疑 迫間支館の熊本地震を含めた避難所としての利用状況は。

答弁 熊本地震の際、迫間支館は避難所として開設しておらず、旧迫水小体育館や菊池北中体育館を避難

所として開設した。近隣の住民が自主的な安否確認のため、迫間支館に集まられたとは聞いている。また、それ以降も避難所としての利用はない。

議員問討議 地域との合意形成が足りず、陳情が上がったことは、大変遺憾である。市はしっかりと合意形成の中で進めていただきたい。

また、地域の思いは分かるが、今後の状況等を見ながら判断していく案件であり、継続審査していくものではないか。

議員問討議 地元は、市との協議がうまくいっていないから、議会に賢明な判断をと陳情しているわけで、継続審査にするものではない。

福祉厚生常任委員会報告

委員長／緒方 哲郎 副委員長／泉田 栄一朗 委員／大山 宝治 平 直樹 工藤 圭一郎 木下 雄二

可決

〔議案第8号〕

**菊池市介護保険条例の一部を改正する
条例の制定について**

内容 介護保険法施行令の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

質疑 この改正は、国が示したものだから、菊池市だけ改正しないことはできないか。

答弁 菊池市だけ改正しないことはできない。

議員問討議 今回の改正で介護保険料の段階が9段階から13段階となり、高額所得者の保険料は、最高で年間5万2920円の負担が増えることとなるため、今後、丁寧な説明をお願いしたい。

議員問討議 予算決算常任委員会福祉厚生分科会では、令和6年度の介護保険料の歳入を条例改正された

後の金額で予算計上されると思っていたが、反映されていないかった。
同じ定例会に予算案を上げるのであれば、改正後の保険料額の説明を行ってほしかった。



経済建設常任委員会報告

委員長／田中 教之 副委員長／猿渡 美智子 委員／本藤 潔 古田 浩敏 福島 英徳 二ノ文 伸元

可決
〔陳情第1号〕
重点支援地方交付金に関する陳情

内容 資材、飼料価格が高騰する中、離農する酪農家が増加しており、重点支援地方交付金を活用した事業等への支援を求めるもの。

質疑 離農する酪農家が增加しているところがあるが、本市の実情はどうか。

答弁 令和5年度で4件が廃業されている。

議員問討議 国の令和5年度補正予算に推奨事業メニューとして、酪農経営の負担軽減等が出ており、国も酪農経営のことを重点的に支援したい考えではないか。よって、本市の基幹産業である酪農ということも鑑みたく、必要な事業への支援は行ったほうがよい。

可決
〔議案第13号〕
菊池市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

内容 都市公園の利活用を見直すに当たり、条例の一部を改正するもの。

質疑 地域の夏まつりなど、地元が依頼して出店していただく場合も、条例どおりの使用料を支払わなければならぬのか。

答弁 条例の中に使用料を減免する規定があり、公共的な団体において公共の用に供するために必要と認められるときには、減免していききたい。

また、行商については判断が難しいことから、事前に相談いただきたい。



議会広報特別委員会活動報告

委員長／泉田 栄一郎 副委員長／大山 宝治 本藤 潔 安武 睦夫 古田 浩敏 島 春代



都城市議会での議会広報研修

私たちは、令和4年6月に、議会広報特別委員会の委員に選任され、6名のうち5名が初当選議員（委員）というフレッシュな体制でスタートしました。

昨年、5月には、宮崎県高千穂町議会と都城市議会へ「議会広報の編集、および制作に係る議員の関わり方」について研修し、早速、議会だよりからホームページ等の情報へアクセスさせるQRコードの導入等につなげることができました。

議会だよりでは、紙面に限りがあり、すべてをお伝えすることができません

が、市のホームページ等へアクセスしやすくすることで、皆さまが必要とされる情報にアクセスしやすくなり、今後の議会だよりのあり方を大きく変えることができる可能性を秘めています。

委員会の任期は、2年となっていますので、次の体制に、これまでに無い新しい感覚と発想での紙面づくりについて、引き継ぎたいと思っています。



令和6年度予算 可決

一般会計 287億1,800万円 (対前年比4.9%増)

特別会計 133億8,033万8千円 (対前年比0.3%減)

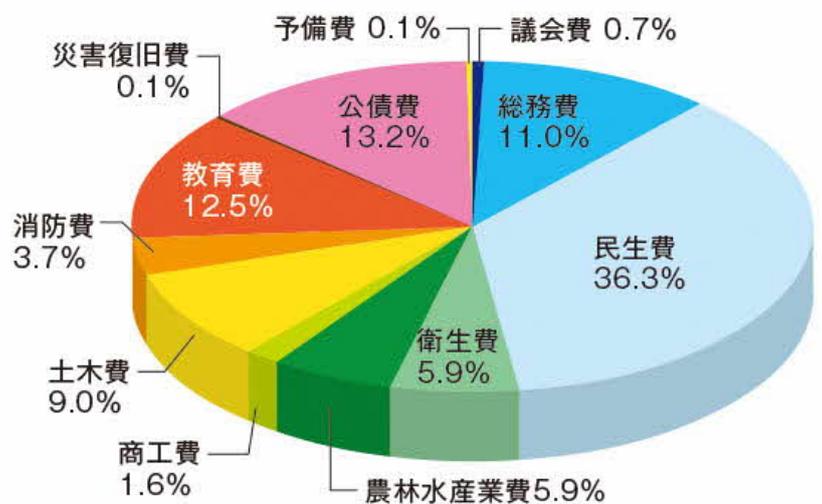
企業会計 44億1,853万6千円 (対前年比2.1%減)

■ 一般会計

単位:千円

| 目的別歳出費目 | 予算額 |
|---------|------------|
| 議会費 | 206,840 |
| 総務費 | 3,159,066 |
| 民生費 | 10,421,110 |
| 衛生費 | 1,699,886 |
| 農林水産業費 | 1,690,624 |
| 商工費 | 457,761 |
| 土木費 | 2,594,931 |
| 消防費 | 1,054,134 |
| 教育費 | 3,600,658 |
| 災害復旧費 | 19,700 |
| 公債費 | 3,783,290 |
| 予備費 | 30,000 |
| 歳出合計 | 28,718,000 |

■ 目的別歳出予算割合



■ 特別会計

単位:千円

| 会計名 | 予算額 |
|-------------|------------|
| 国民健康保険事業会計 | 6,577,229 |
| 後期高齢者医療事業会計 | 839,265 |
| 介護保険事業会計 | 5,963,844 |
| 合計 | 13,380,338 |

■ 企業会計

単位:千円

| 会計名 | 予算額 |
|---------|-----------|
| 水道事業会計 | 1,110,451 |
| 下水道事業会計 | 3,308,085 |
| 合計 | 4,418,536 |



予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

委員長／二ノ文 伸元 副委員長／福島 英徳

分科会長／(総務文教)後藤 英夫 (福祉厚生)緒方 哲郎 (経済建設)田中 教之 委員／議長を除く14名

可決

〔議案第23号〕

令和6年度一般会計予算

合併記念事業

326万8千円

内容 令和7年3月22日に合併20周年を迎えることから、記念事業を開催することで、本市の発展と市民の一体感の醸成を図るもの。

質疑 市民劇を開催する意味は。

答弁 市民の一体感の醸成を図るものである。

質疑 令和7年3月22日に開催を予定しているとのことだが、この時期は観光協会の桜のイベントや文化会館では文化協会の音楽祭もある。いろんな所でいろんなイベントがあつているので調整すべきではないか。

答弁 庁内で調整し連携を図りたい。

意見

合併記念事業の開催は、市民からの意見ではなく執行部からの提案とのことだが、市民の一体感の醸成と言ふならば、各種団体の意見を聞くべきではないか。

防災行政無線等整備事業

1億8217万9千円

内容 75歳以上のみの世帯で「きくち防災・行政ナビ」の利用ができない世帯を対象に、戸別受信機を配備するもの。

質疑 今後、整備するデジタル型戸別受信機のアンケートを取つてあるが、携帯のアプリに防災行政ナビを入れていると、戸別受信機は配付されないのか。

答弁 あくまでもアプリを推進しており、アプリを利用されている世帯はアプリのほうを、アプリを利用できない

世帯で戸別受信機の設置を希望される世帯には配付するというところで、アンケートを作つている。

地下水対策事業

877万4千円

内容 熊本大学との共同研究による七城地区地下水質調査等を実施するもの。

質疑 七城の水質検査に係る費用は、全て一般財源だが、TSMCの稼働に伴い、周辺地域の地下水質保全への影響があると思われるため、県に対し費用負担を求めてもよいのではないか。



市内地下水質調査における採水実施状況

答弁 TSMCがある菊陽町は、江津湖を共通の地下水盆とする熊本地域に属し、本市では、泗水地域及び旭志地域が属している。七城地域は、熊本地域には属していないが、県主催の環境担当者会議の場等で、事務局レベルで支援に関する要望等を行っている。

子ども食堂運営支援事業

60万円

内容 子ども食堂の運営を行っている団体へ活動支援を行うもの。

質疑 県が全額補助していた事業で、令和6年度から2/3の補助となるようだが、今後、補助の割合が減つてもこの事業は続けるのか。

答弁 県の補助があるうちは継続する考えである。補助がなくなつた場合は状況等により協議を行いたい。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

定 例 会

委員会・分科会

一般質問

イベント等

研修・視察等

観光プロモーション事業

3523万1千円

内容 令和5年度に県の事業で策定した菊池温泉街リブランディング基本構想に基づき、実行計画を策定し、温泉街の再生および活性化を図る菊池温泉街リブランディング事業等に取り組みもの。

意見 菊池温泉街リブランディング事業の基本構想を立てるのはいいが、観光協会や市など周りがいくら何かをやるうとしても、温泉を経営されている人たちが自らやるうという気持ちがないと、まず成功しない。

意見 台湾の方に宿泊してもらうためには、1人1部屋でなければ難しい。旅館の方々も、後継者不足でお金を注ぎ込みたくない。こういった事業でお金を投入するより、1人1部屋のホテル等を誘致するなど発想を変えることが必要ではないか。



【議案第24号】 令和6年度国民健康 保険事業特別会計予算

財政調整基金繰入金

1億6055万5千円

内容 国と地方の財源調整の一環として、地方財政措置が講じられ一般会計から繰り入れることになっているもの。



質疑 制度的に繰入額が増えていくのは仕方がないと思うが、基金の活用方法も含め、今後どのような見直しを持っているのか。

答 弁 基金は、過去に取り崩したこともあったが、少しずつ利息から積立を行ってきた。現在2億9千万円程度あるが、月の医療費は4億円程度あり、基金は一月分の医療費にも満たず、非常に心配である。

令和12年から県下保険料の統一の話があり、令和6年度から本格的な協議を行う予定である。

市民にとって一番関心があることは、保険料が上がるのか下がるのかだと思うが、非常に厳しいと考えている。



【議案第27号】 令和6年度 水道事業会計予算

水質検査委託料等

1707万5千円

内容 水質検査委託料、電気保安管理委託料、施設点検委託料等にかかる費用として、計上するもの。

質疑 水質検査委託料には、議会全員協議会で話が上っていた有機フッ素化合物の検査も含まれているのか。

答 弁 令和5年12月の予算決算常任委員会において、令和5年度予算で何とか検査できないかとの意見があったことから、令和5年度で発注している。



水質検査

生理用品の配備に関する提言

(概要)

総務文教分科会より「小中学校トイレへの生理用品の配備について、学校任せではなく教育委員会が責任をもって進めること」との提言を行いました。

答 弁 学校の判断を尊重し、一任している。今後学校や児童生徒の意見を聞き、必要な配備を進めていく。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

可決

【議案第17号】
令和5年度一般会計補正予算

国際交流推進事業

△412万8千円

内容 韓国友好都市への交流訪問の中止、また、台湾宜蘭市との了解覚書締結に向けて働きかけを図ってきたが、その実現に至らなかったこと等によるもの。

質疑 台湾宜蘭市との交流推進は、今後どのように進めていくのか。

答弁 国内の関係自治体と連携の上、福岡の弁事処を通じて今働きかけを行っており、来年度の実現に向けて準備を進めた。

意見 昨年、市内の経済団体の交流に関する意見交換会があったが、この灯が消えないよう継続的な協議を進め盛り上げた上で協定を結んでいただきたい。

新型コロナウイルス感染症対策事業

△6014万円

内容 ワクチン接種委託料や、コールセンター運営委託料等の実績見込により減額するもの。

質疑 ワクチン接種の公的補助は今年度で終わると思うが、接種率はどのくらいか。

答弁 令和5年度は春と秋に接種を行い、接種率は延べ人数で62%である。

震災復旧緊急対策経営体育成支援事業補助金返還金

845万円

内容 補助金不正受給が発覚し、令和5年6月28日付で、補助金1億5140万1千円の返還命令を行っており、相手方より被害弁償金が示されたことか

ら、補助金返還額の一部として受け入れるため、増額するもの。

質疑 補助金返還の見通しは。

答弁 明確な計画は立っていないが、顧問弁護士や同様の案件を抱えている大津町とも連携し、また国・県と相談しながら、計画を立てていきたい。

可決

【議案第21号】
令和5年度水道事業会計補正予算

加入金 2130万7千円

内容 給水装置工事申請の増により水道加入金が増加するため、増額するもの。



質疑 家が増えたと考えてよいか。

答弁 アパートがほとんどである。アパートが少ないところでも10戸、20戸とか、多いところでは30戸あり、20戸で2棟等の形もあり、件数としては増えているが、建物としては一戸建ての家が増えたという訳ではない。



定例会

委員会・分科会

一般質問

イベント等

研修・視察等



泉田 栄一郎 議員



Q 花房坂公園周辺の桜の整備はどう進めているのか。

A 新木の成長や古木の状況を見ながら計画的に進めている。



花房さくら坂公園からの眺望

Q 花房坂公園は菊池温泉に入る玄関口。全体の景観を見渡せるよう混雑した樹木を整備する予定は。

A のり面は、市の所有ではなく個人所有であり、同意いただいた範囲で進めている。

「SDGs」の推進

Q 本市が奨励しているごみ削減の取り組みは。

A 令和6年度より、

A PFIを活用した、若者や子育て世代が入居しやすい住宅施策については、他自治体の事例を参考に検討を重ねていきたい。

Q 住宅施策にPFIを活用するなど、子育て世代、高齢者向けに特化した施策はできないか。

今後の市営住宅の在り方

また、家庭から出る資源物を子ども会やPTA等の団体が集め、資源物を回収する業者に引き渡す活動に奨励金を交付している。

生ごみ処理機等購入補助金は、補助率を1/3から1/2へ補助限度額は電動式生ごみ処理機が2万円から3万円に、処理容器が3千円から5千円に引き上げる予定である。

Q 不登校児童生徒の増加に対し十分な対応ができているのか。

A 不登校児童生徒の増加が著しく、難しくなっている。



島 春代 議員



Q 児童生徒の悩みや相談に対して様々な専門家の先生が対応されているが、「こころの問診票」アンケートは有効と考えているのか。

A 学校では「こころの問診票」の結果を基にして、全ての児童生徒に個別の教育相談を実施しており、気になる児童生徒の状況を把握したり、児童生徒の不安や悩みの早期発見に活用しており、有効と考えている。

子宮頸がんワクチン接種

Q ワクチン接種対象者とキャッチアップ接種の未接種者への推進予定はあるか。

A キャッチアップ接種の対象であり未接種の方に対しては、再度個別通知を行っていききたい。

また、希望される方が円滑に接種できるように、子宮頸がんワクチンについての情報提供をホームページや広報紙等で行っていききたい。

その他の質問

- ・トイレの洋式化

Q 本市の樹木管理の状況は。

A 所管課で施設管理と併せて維持管理を行っている。



平 直樹 議員



菊池南中学校と隈府小学校の間の市道

Q 市民生活に影響のある本市保有の樹木の数と現状は。

A 市道敷地内の街路樹が203本、都市公園等が約530本、市役所庁舎が計66本、社会教育施設が19本、社会体育施設が623本、市民広場や各物産館等の農政・観光関連施設が計624本、保育園や老人福祉センター等の社会福祉施設が37本であり、小中学校敷地内及びその他公共施設敷地内の数は、把握ができていない。

適切な管理を含め課題と考えている。

Q 調査研究し樹木管理計画を作り適切な予算確保に努めるべきだと考えるがどうか。

A 相手が生き物であり、長期的な計画がどの程度実行性があるのか、今後の課題とさせていただきたい。

菊池市子育て世帯
移住支援事業補助金

Q 一般財源を使っている本事業ならば、菊池市子育て世帯定住促進事業補助金とし、対象者を市内在住者(納税者)を含みつつ、内容を拡充、改善する必要があると考えるがどうか。

A 今後の実績等も踏まえ、他自治体の事例等も参考にしながら、研究していきたい。

Q 国民健康保険制度は安定した運営が見込めるのか。

A 今後の見通しには、大変厳しいものがある。



安武 睦夫 議員



国民健康保険被保険者証

Q 国民健康保険制度は、被保険者の減少が見込まれており、厳しい国保財政運営が予測される。

A 今後、保険料水準県下統一も控えており、弱者救済制度でもある国保制度の安定した運営の備えとして、国保財政調整基金を3億円限度とした定額運用基金に改正する考えは。

A 不足が生じた場合は、まずは基金残高から取崩しを行うということが大原則であり、現在のところ、国保定額運用基金という考えはない。

学力向上と発展的な教育

Q 発展的な教育として、塾に行かなくても一人一台端末の家庭学習用ソフトの充実などのICT教育で、家庭教育を充実し学力向上する考えは。

A 現在導入しているドリル教材や、QRコードからダウンロードする学力調査の個別対応ワークシート等、既存の学習教材をしっかりと活用していきたい。
また、自主学習での端末活用に関する保護者への通知も含め、家庭学習ソフトの充実と併せ、ICT教育推進委員会で調査研究を進めていきたい。



田中 教之 議員



Q オンライン申請等が進まない理由は。

A 領収書等の原本確認や信憑性の担保等が課題である。



Q デジタル推進コーナーディネーターの設置目的と具体的な活動内容はどのようなものか。

A 地域の皆様と直接接し、疑問や要望を聞きながら、課題を解決、利便性の向上を図ることで、地域に根づくデジタル化を推進していきたい。

地域医療体制

Q 今後、菊池市内の医療従事者の確保が課題となると思うが、医師会立の看護学校に対して、本市からの支援はできないか。

A 医師会からは、具体的なニーズや要望について、市に直接、話があっていないため、現時点での看護学校への支援の計画はないが、今後、市としてどのような協力ができるのか、引き続き、医師会、菊池保健所、近隣自治体等と協議をしていきたい。

Q 水道管の耐震適合率が低い対策や耐震計画はあるか。

A 来年度、水道ビジョンの投資・財政計画を見直す予定である。



本藤 潔 議員



Q 防災ナビ・行政ナビの登録者数は約1万1千件とのことだが、防災アプリに「災害備蓄品」や「非常食」を結び付けて備蓄促進につなげてはどうか。

A 防災アプリを活用しながら、災害備蓄品の内容の掲載、各家庭における非常用備蓄品の推進を図り、アプリやその他の広報紙、市のホームページ、様々な手段と機会を持ちながら、推進していきたい。

子育て世帯移住支援事業

Q 子育て応援宣言や、子育て環境日本一等、それに見合う施策をより充実させてPRすることはできないか。

A 市のホームページを明確で分かりやすく充実させていきたい。また、子育て支援宣言やキャッチコピー等については、必要性について検討させていただきます。

その他の質問

- ・ 公共施設等総合管理計画

Q 市の水道管の耐震化率は。

A 耐震適合率は8%である。(令和3年度水道統計)



猿渡 美智子 議員



Q 能登半島地震を見て水道の耐震化は不可欠だが、菊池市は進んでいない。どんな課題があるのか。

A 一番の課題は、財政的課題である。水道施設の耐震化、特に水道管の耐震化を進めるには、耐震性のある材質の管や、管の継ぎ手部分に抜け出し防止機能が装着された高規格の管が必要となり、事業費が高額となるため、工事費の財源となる企業債の借入額が大きくなり、財政的負担が大きくなるものである。



耐震化した桜山配水池

Q 公共施設管理計画では、年間7.9億円が必要とされているが、投資可能額は2.8億円で全く足りていない。財政調整基金から毎年一定額を繰り入れてでも耐震化を進めるべきではないか。

A 一般会計からの繰り入れは、給水区域以外の市民の方の税金も投入するところとなり、国が定める基準以外の繰り入れは望ましくないと、基本的に耐震化は水道事業の中で、水道料金の検討や経営努力等により進めていくべきものと考えている。

その他の質問

- ・災害時の断水対応
- ・防災における男女共同参画

Q 泗水地区に巡回バスを運行する考えはないか。

A どんな公共交通サービスが最適か検討していきたい。



荒木 崇之 議員



Q 昔からあった商店は閉店し、移動販売車も廃止となった。泗水地区では、民間バス停に近いとの理由で乗り合いタクシーを利用できない行政区が16区もある。

今こそ、乗る場所を各区の公民館に決めて、ジャンボタクシーで道の駅泗水を中心に八の字型で巡回する泗水地区巡回

Q バスの導入は検討できないか。

A 様々な地域課題が顕在化しており、環境が激変しつつもある。

令和6年度4月以降に、泗水も含めた全体の公共交通計画を本市において策定し、市民の方々あるいは交通機関のご意見、有識者等の助言もいただきながら、巡回バスも含め、どんな公共交通サービスが最適なのか、あるいは最善なのか、検討していきたい。

その他の質問

- ・病児保育





福島 英徳 議員

Q 稲作農業や農業者に対して、市として今後の取り組みは。

A これまで以上に有機農業を推進していく必要がある。



Q 市長の施政方針では、有機農業をはじめ化学合成肥料や化学合成農薬の低減など、環境にやさしい農業の推進を強化すると述べられたが、今後の農業について具体的な考えは何か。

A 今後も引き続き、オーガニックビジネスを目指すことを一つの共有目標として、耕作放棄地の発生防止、有機農業をはじめとする環境にやさしい農業の実現に向けた各種施策を展開するとともに、安心・安全な農作物をPRしながら

ら、本市の基幹産業である農業の持続的な発展に向けて取り組みたい。

Q 非営利団体として単独随意契約で委託を行っていたにも関わらず、決算では284万974円の利益が出ても市に返還もされない。河川美化作業を会計年度任用職員から業務委託に変えたメリットは何か。

A 会計年度職員での継続性が非常に難しく、地域の方たちの一体感と祭りとの兼ね合いを考え、商工会七城支部青年部や区長会等を含む地域の団体が行ったほうが、より効果的と判断し委託に切り替えた。

その他の質問

- ・菊池川流域
日本遺産

Q きくち起業塾・きくち未来創造塾の今後の展望は。

A 商工会と一緒に事業を支援し、大きく育てていきたい。



稲継 智康 議員



Q 本年度までにきくち起業塾は3年間、未来創造塾は2年間行われ、予算では単年度できくち企業塾に約660万円、未来創造塾に約160万円が使われているが、あまり市民の方に周知されていない。

A この2つの事業の内容と現在の効果、今後の取り組みは。

A きくち起業塾は、本市内で起業を考えている方を対象に、必要なスキルを

学び、本市内での起業に向けて、令和3年度からこれまで50名が受講し、8名が起業している。

きくち未来創造塾は、産官学金が連携した組織体制により、地域課題の解決と地域経済の活性化の実現を図ることを目的に、令和4年度からこれまで18名が受講し、1期生のビジネスモデルの実施率は50%となっている。

本市スポーツ施設の利用状況・活用

Q スポーツ施設の幅広い活用方法を検討できないか。

A スポーツ利用以外の利用は、利用許可条件の規程を考慮しながら、内容や利用方法を伺い、適宜判断していきたい。

Q 会計年度任用職員の処遇改善を行うべきではないか。

A 制度に基づき、安心して働ける環境整備に取り組みたい。



東 奈津子 議員



Q 市の会計年度任用職員は、賃金一人当たり平均190万円。

A 雇用も3年目を過ぎたら毎年の試験が強いられる。このような処遇は改善すべきと考えるがどうか。

Q 賃金は、条例等により、原則、正規職員の給料表を基準に報酬額を決定している。

A また、雇用の継続については、公募によらない任用は、同一の者について原則2回まで認めている。

しかし、現制度では、成績主義の原則や平等取り扱いの原則を踏まえ、雇用の継続を保障することは困難である。

重度心身障がい者
医療費助成制度

Q 本市では、医療費助成の費用に関し

て、窓口で一旦立て替えとなっている。大津町など近隣自治体では立て替えなしへと制度拡充を進めている。

A 本市でも制度の拡充を図っていくべきではないか。

Q 一時的な経済負担のみならず、市の窓口での事務手続についても負担を感じておられると認識している。

A 今後、他自治体や国保連の情報収集に努めるとともに、国の動向を注視していきたい。



Q 住宅用防災警報器の設置率は。

A 設置率は80%である。(令和5年6月1日時点での菊池広域連合管内標本調査)



二ノ文 伸元 議員



Q 菊池広域連合消防本部管轄内で、本市の火災発生数や死者数が他市町に比べて多いが、その対応は。

A 消火栓、防火水槽は、地元の区長や消防分団長の連名により、防災交通課に申請をいただき、消火栓であれば水道局と協議のうえ設置の方向に進めている。防火水槽は、防災交通課で設置を進めている。

Q 住宅用火災警報器の義務化に伴う設置状況と未設置住宅へ補助金を出す等、今後の方針は。

A 住宅用火災警報器の設置義務が施行さ



2階の階段に設置した住宅用火災警報器

れて10年以上が経過しており、現状では補助金を設ける考えはないが、住宅用火災警報器の設置が義務化されているため、改めて周知啓発に取り組んでいきたい。

本市のまつり

Q 本市の祭実行委員会における決定内容と今後のまつりはどうなるのか。

A 白龍まつりを秋に開催することとし、秋まつりと統合したまつりを開催することになった。今後、白龍まつりは10月15日に近い土曜日に開催することとなり、本年は10月12日(土)に開催するところで準備を進めることになる。

その他の質問

・本市の観光



木下 雄二 議員



Q 迫水小学校跡地のエミュー観光牧場の現状と地域貢献は。

A 共存共栄に向けて事業計画の遂行をお願いしていく。

Q 迫水小跡地のエミュー観光牧場併設のレストランの地元雇用、地元食材の活用、災害時の避難所解放等による地域貢献、鳥インフルの防疫対策の対応は。

A 地域貢献は、進出理念であり当初の予定どおり変わらない。防疫対策は、関係法令に基づき対策を行っているとのことである。



熊本県菊池エミュー観光牧場

国道387号沿いの太陽光発電事業

Q 国道387号沿いの迫間地区における迫尾型太陽光発電事業の開発行為は、地域住民の不安の解消に至っていない状況が続いているが現状は。

A 現地立会の実施には至っておらず、今後も引き続き開発事業者に対して実施を求めていきたい。

道路整備

Q ①国道387号(豊間地区)、②西迫間(寺小野線(市野瀬区))、③古川伊倉線、④立石野間口線の進捗状況と今後の計画は。

A ①県は用地交渉に着手したとのことである。②第一寺小野橋から市野瀬区までの区間の改良は現時点での着手は難しい。③令和7年度中に全線開通を目指す。④残り約400mを計画に基づき進める。

その他の質問

- ・市民広場再整備後の状況
- ・九州産廃菊池営業所廃止後の水迫地区への対応
- ・菊池市公共施設等総合管理計画

議会をインターネットで!

傍聴においていただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより、菊池市議会をクリックし、議会議中継をクリックしていただくと会議録画映像を見ることが出来ます。使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会議務局

TEL 25-2325



菊池市議会HP
議会議中継

菊池市議会 議会議映像 検索

議長交際費を公表します

令和6年2〜4月分は、左記のとおりです。

会費（公的性格を有する団体との協議会費および負担金）
3件 1万2,700円

その他（他自治体への研修、および議長会等経費）
2件 1万5,400円

合計
5件 2万8,100円

議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動を行うために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上、妥当と思われる範囲にとどめるよう努めています。

菊池高校1年生が議会を 傍聴しました。

令和6年2月26日10時

菊池高校では、校訓である『汗と夢』のもと、「幅広くグローバルに活躍できる人材」「地域発展に貢献できる人材」「地域産業活性化に取り組む人材の育成」を目指し、職員と生徒が心を一つにして、学習活動、特別活動、部活動などに取り組みとともに、学校と地域が協働で行う地域参加・地域貢献活動を推進されています。

今回、1年生の約20名が、公民「地方自治と私たち」の中で、地方自治がどのような仕組みで行われているのかを学習するため、実際に市議会の一般質問を傍聴して学習しました。



(感想)

・今まで議会のことを全然知らなかったし、初めて知ることが沢山ありました。
また、市のことを良くしようとしている人がいることを忘れず喜らそうと思いました。
・小中学校のことや、市の景観のこと等さまざまな内容の議論がありました。
私たちの暮らす菊池市の細部まで議員の方々が考えてくださっていることのありがたみを忘れないようにしようと思いました。

議会傍聴を お待ちしております！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席は、バリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しくください。皆さまのお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。



**6月定例会は6月14日(金)に
開会する予定です。**

※感染症対策などにより、入場に制限がある場合があります。

議会と各種団体との意見交換会

菊池市議会では、市民の皆様が開かれた議会を目指し、常任委員会ごとに各種団体との意見交換会を開催しました。

概要 意見交換会は、各常任委員会で、意見をいただく団体やテーマを絞り、専門的に集中した意見交換会となるよう、工夫して行いました。

(総務文教／11月13日) PTA連絡協議会
(福祉厚生／1月22日) 菊池都市医師会
(経済建設／11月8日) 商工会、観光協会

※内容は、紙面の都合上、抜粋して記載します。

学校の現状と課題

PTA 昨今不登校の児童・生徒が急激に増えている。泗水中学校では40名ほどの不登校が出ている。

議員 教育委員会の答弁では、適応指導教室を利用してほしいとのことだった。学校はもっと関わったほうがよいのか。

PTA 学校から毎日声掛けがあると落ち込むなどの声もある。声掛けがないと学校は何もしないとの声もある。とても難しい。

PTA 3年生に、1年生のときから不登校だったが、先生の尽力により解消している事例もあるが、先生の負担が大きいの。授業、部活動、不登校と対応が大変である。家庭や学校だけでなく、周りのサポートとして、地域で関わり合うことが大切だと思う。



学校施設管理や通学路の安全対策

PTA 通学路の安全として、危険木の問題がある。また、校区の危険箇所調査があっており、各道路管理の担当が違うのは分かりますが、国道・県道・市道の違いでなく対応してほしい。

議員 通学路の問題は大事だと考える。状況把握をしながら危険箇所がないか調査するよう関係各課につなげたい。

PTA 菊之池小学校を増築したときに2階建てを建てられればと思ったが、1階建てだった。その後、さらに増築されたがもったいない。今後、菊之池小学校の児童は増えると思うが増築で対応するのか。

議員 議会でも、学校の増改築は増築より新築のほうが安いのではないかと議論があったが、学校長寿命化事業で増築となった。

医療体制・医療体制への支援

医師会 現在、菊池市では、盲腸等の基礎的な手術もできない状態とは知られていない事実であり、危機感を持ってもらいたい。

医師会 TSMCの進出による人口の増加に、現状の医療体制が受け皿となりえるのか不安がある。

医師会 菊池市には、看護学校があり、准看護師育成を行っているが、年々入学人数が減少している。県・市の連携をお願いしたい。

医師会 地域医療調整会議への行政の介入が大切と感じる。市長にもぜひ参加していただきたい。

医師会 在宅医療への考え・方向性が分からない。市としての医療への本気度が伝わってこないと感じる。

医師会 校医は、かけもちをして頑張っているが、限界に近い地区もある。何かしらのインセンティブを持たせないと増えない。

議員問討議 看護師・介護士の人材が多方面へ流出することは、他の産業と一緒にであり、病院の維持自体が困難になってきている現状に危機感を感じる。

議員問討議 行政としての対応は厳しいものもあると思うが、行政の役割の大切さを感じた。連携を深め現状把握をするため、年に1回程度は医師会と執行部との意見交換会を行う機会があってもよいのではないか。



今後のインバウンドを見据えた観光戦略

観光協会 国内の観光需要は、急激に伸びている状況にあるが、菊池市では令和5年4月から、前年割れの状況が続いている。

観光協会 温泉街の活性化と組織体制の二つが、私たちの抱えている大きな課題である。組織体制の面では、市からの補助金をいただいて活動しているが、人も人財もない。

議員問討議 観光協会は、企画やプランニングに力を入れていきたいが、現状では、観光案内や施設の管理に追われているとことであり、一番の課題は、人の数や人財が不足をしている点だと感じた。

商工会 海外ではキャッシュレス決済がほとんどであるが、菊池市の商店街の皆さんが海外対応型キャッシュレス決済に対応できていない。

キャッシュレスには、たくさんタイプがあり、台湾と日本では使われているタイプが違う。一番簡単なクレジットカードによるキャッシュレス決済だと、手数料が相当かかってしまうことがネックであり、価格に転嫁できれば良いが、それができていない。

議員問討議 キャッシュレス化について、事業者が気にされているのは、手数料なのか、機械の導入費用なのか、何か別のことなのか、行政と商工会との間でしっかりと議論をしていくべきである。

議員問討議 台湾ツアーゲットのおもてなしセミナー等を開催されており、言葉やいろんな文化の受け皿をきちんとしていかなければインバウンド対策は難しいので、行っている事業の成果が出てくれば良いと思う。



まとめ

いただいたご意見を糧にして、各委員会ともより、各議員が今後の議会・議員活動につなげてまいります。このたび、ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

報告書の詳細についてはホームページをご覧ください。



表紙について

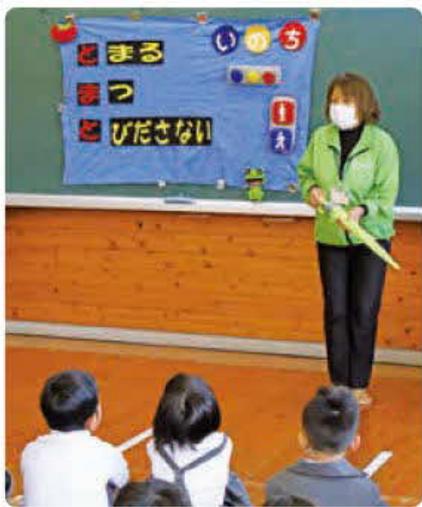
今号は、花房小学校で行われた「交通安全教室」を紹介しました。

花房小学校では毎年1〜3年生を対象に、交通安全教室を実施しています。

今回は1・2年生の19人が参加し、菊池市交通安全協会から交通ルールの説明を受け、その後、実際に道路に出て横断歩道の安全な渡り方などを学びました。

雨の中での教室となり、子どもたちは傘を差しながら注意して左右を確認し、横断歩道を渡っていました。

子どもたちには、今回の教室で学んだことを活かし、交通ルールを守って安全に過ごしていただきたいと思います。



令和6年 第2回
菊池市議会定例会日程の予定



| 月日 | 区分 | 日 程 |
|-----------------|-----|-----------------------------------|
| 6月14日 | 本会議 | 開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明 |
| (6月15日〜18日 休会) | | |
| 6月19日 | 本会議 | 質疑・委員会付託 |
| | 委員会 | 予算決算常任委員会 |
| 6月20日 6月21日 | 本会議 | 一般質問 |
| (6月22日〜23日 休会) | | |
| 6月24日 6月25日 | 本会議 | 一般質問 |
| 6月26日 6月27日 | 委員会 | 常任委員会・予算決算分科会 (総務文教 福祉厚生 経済建設) |
| (6月28日〜7月1日 休会) | | |
| 7月2日 | 委員会 | 予算決算常任委員会 |
| (7月3日〜4日 休会) | | |
| 7月5日 | 本会議 | 委員長報告・質疑・討論・採決 閉会 |

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

編集後記

いつも議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

議会広報特別委員会は、市民の皆様にとって、読みやすく、分かりやすい議会だよりとなるよう、活動しています。

議会としては「委員会の役割や活動を市民へ周知すること」に力を入れており、議会だより等を通して、市民の皆様へ議会における審査等の内容をお伝えすることができればと、議会広報特別委員会には大きく期待しているところです。

今後も、これまで以上に市民の皆様から親しまれる議会広報となることを願いますとともに、市民の皆様には、引き続きご愛読いただきますよう、お願い申し上げます。

菊池市議会 議長 水上 隆光

■議会広報特別委員会

委員長 / 泉田 栄一朗 副委員長 / 大山 宝治
委員 / 本藤 潔 安武 睦夫 古田 浩敏 島 春代